

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 21.4.7 第 171 回国会第 12 号

4 月 7 日（火）第 12 回の委員会が開かれました。

## 1 高齢者の居住の安定確保に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 15 号）

- ・金子国土交通大臣、西銘国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 若宮 健嗣君（自民）

- ・今回の法改正の趣旨と主な内容についてお聞きしたい。
- ・本法律に基づく事業は民間事業者が中心となると思うが、国としては民間事業者にどのような支援を行っていくのか。
- ・今回の改正により、高齢者居宅生活支援施設が増加することで、その施設の建設や施設におけるサービスなどを通じて雇用の拡大につながるのではないかと期待しているが、これについてはどのように考えているか。
- ・高齢者が安心して生活できるような今後の住宅政策についての見解をお聞きしたい。

### 高木 陽介君（公明）

- ・平成 13 年の「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の制定後 8 年が経過し、高齢者をめぐる居住環境はどのように変化してきたと認識しているか。
- ・高齢者の居住の安定確保について、住宅施策と福祉施策を、これまでどのように融合し、あるいは一体化して事業を行ってきたのか。
- ・住生活基本法における住生活基本計画（都道府県計画）と本法律案の高齢者居住安定確保計画との関係はどのようになっているのか。
- ・自治体あるいは民間が事業を行う場合、国としてはどういった支援を行っていくのか。

### 小宮山 泰子君（民主）

- ・ETC 車載器の助成台数の拡大に関して、担当者が（財）高速道路交流推進財団へ出向いて要請を行い、拡大が決まった。このようなことは民間では考えられないことで、このような国土交通省と同財団との関係の見直しについて、どのように考えるか。
- ・高齢者居宅生活支援施設等の整備に当たって建設及び維持管理のコストを下げる必要がある。これについてどのように考えているのか。
- ・高齢者が現在の賃貸住宅に安心して住み続けられるよう

にするため、国土交通省として何を行っていくのか。また、そのための都道府県への指導及び支援について、どのように考えているのか。

### 長島 昭久君（民主）

- ・高齢者が安心して住み続けられる低家賃の住宅をどのように確保しようとしているのか伺いたい。
- ・平成 13 年に発生した九州南西海域不審船事案における排他的経済水域（EEZ）での海上保安庁の武器使用は、国内法上適正であり、国際法上も適正であることを説明してもらいたい。
- ・EEZ での取締りは、ソマリア沖など公海上の海賊への対処と法的性格に違いはないか。

### 後藤 齋君（民主）

- ・横田飛行場の軍民共用化の早期実現に向けた大臣の見解を伺いたい。
- ・人口が減少し供給過剰となっている今、これから国土交通省として行う住宅政策はどのような視点、観点から行われるのか。
- ・ストックの有効活用や産業振興等時代に合った住宅政策への転換が必要であると考えますが、大臣の見解を伺いたい。

### 三日月 大造君（民主）

- ・高齢化が進展する中で、国として住宅について目指すべき方向性をどのように大臣は考えているのか。
- ・高齢者住宅等の供給目標は、都道府県策定の高齢者居住安定確保計画の供給目標の積み上げではなく、まず国として示すべきではないか。
- ・「高優賃」「高円賃」等の高齢者住宅の情報提供や普及促進について、現場の声を踏まえた工夫と見直しが必要ではないか。
- ・中古住宅の目利き（インスペクター）の育成を図る必要があると考えますが、国においてはどのように問題意識を

持ち取り組んでいるのか。